

公表日

2026年 3月 6日

事業所名

こぼんはうすさくら 宝木教室

保護者等数(児童数) 32名

回収数 28件(割合87.5%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27			1	確保されていると思う。	今後も安心してご利用いただけるよう努めていきたいと思っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25			3	適切であると思う。	今後も安心してご利用いただけるよう努めていきたいと思っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	28				連絡帳を通して室内でも楽しく過ごしている様子が伺えます。	安心・安全にご利用いただけるよう職員を配置していけたらと思います。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	1			先生によると思う。もう少し理解してほしい先生もいる。	カンファレンスなどで利用者様の特性や支援方法を検討、職員間で共有し対応していきたいと思っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	1		2	合っている。	各方面でのプログラムを参考にしながら本教室に合ったものを考えています。季節感のある活動を取り入れています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28				作成されている	カンファレンスやモニタリングを行い、ニーズや個々にあった支援計画を作成しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28				作成されている。	支援内容を踏まえ、個々にあった支援計画を作成しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28				適切である。	利用者様に寄り添った支援を心がけていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	1		2	限られた時間でも楽しめるよう工夫されていると思います。	季節感のある活動を取り入れ、楽しかったと思えるプログラムを作成しています。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	3		11		ニーズを把握し状況を見ていきたいと思っています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27			1	説明を受け理解していきます。	ご契約の際に説明しております。今後もわかりやすくお伝えするよう心がけていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28				説明があった。	支援内容の説明を今後もわかりやすくお伝えするよう心がけていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	2	2	7		研修を設けることはできていませんが、モニタリングや送迎時にお話し出来る機会がとれればと考えております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	28				送迎時に直接教えていただき、わかりやすいです。	連絡帳でのやり取りや送迎時のお話しし、保護者様と共有していけたらと考えております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27			1	説明があった。	モニタリングや送迎時にお話し出来る機会がとれればと考えております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	2	6	7	出来なくても今は仕方ないと思う。	ニーズを把握し状況を見て検討していきたいと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26			1	1	適切な対応がある。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28				連絡帳や送迎の際に開けています。	連絡帳やメールを活用し、意思疎通が増やせるよう努めていきたいと思っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26			2		SNSの活用は検討していないので、毎月の通信を通して活動内容や様子などが発信されています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	1		1	適切な対応がある。	鍵付きの書庫で保管しています。 他教室とも情報共有し、改善していきたいと思っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	1		2		地震・火災・不審者・感染症など、起こりうる災害を想定し訓練を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28				訓練の手紙が入っているので、行われているのが伝わります。	避難訓練は半年に1回実施しております。 通信等で訓練の様子を載せています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27			1		安全計画の作成していますが周知は不十分ですので、改善していけたらと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	1		1	適切な対応がある。	職員間での情報共有を徹底し、保護者様への報告の漏れがないよう心がけていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28				・以前は慣れないで不安感があったようですが、今は慣れて安心して通っています。 ・楽しみに通所している。	ありがとうございます。 今後も安心してご利用いただけるよう努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	1			楽しみにしています。	様々な体験ができるようプログラムを検討し、子どもたちが楽しみながら成長できる教室を目指していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28				・回数は減りましたが、楽しく通えているので嬉しく思います。 ・高校生までお願いできたらもっともっと満足です。	ありがとうございます。 今後も寄り添った支援を心がけ、日々努めていきたいと思っています。

公表日

年 月 日

事業所名

こぼんはうすくら 宝木教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	(どちらともいえない：1)	個別の部屋があるとグループ活動しやすい。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3		配置は適切であるが、職員が不足していると思う。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	畳スペースがあり、畳の部分でのリラックス効果がある。 玄関前にスロープあり。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	毎日の消毒徹底。活動しやすい収納・自由な遊び場・学習スペースの確保。 遊ぶスペースの広さあり。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	4	環境がないので、職員個々が工夫し都度場所を作っている。	トイレが足りないと思う。 部屋がもう一つあっても良いと思う。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	研修や会議にて実施している。 (どちらともいえない：1)	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		ケース会議にて共有している。 (どちらともいえない：1)	機会は設けているが業務改善につなげていないこともあるので、改善できるよう努めていきたい。
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		日常対話の機会が多く意見を伝えられている。内容を踏まえ会議などで改善に向けて話し合っている。 (どちらともいえない：1)	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5		第三者による外部評価は実施できていない為、評価結果を業務改善につなげる体制が整っていない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	3		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		(どちらともいえない：1)	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	2	(どちらともいえない：1)	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		ミーティングで情報の共有をしている。 (どちらともいえない：1)	作成時に支援に関わるスタッフと共通理解のもとで作成しているが、周知されていないので、広く情報を収集していきたい。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	2	会議などで共有している。	職員間での共有にはばらつきがあり、計画に沿った支援について今後更なる」取り組みが必要。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	ミーティングで情報の共有をし、一日の活動内容を管理している。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	個別支援計画書の内容を共有している。 (どちらともいえない：1)	「地域支援・地域連携」に向けて設定されているかはわからない。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		活動前に相談している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	・一日のメモを見て前日と活動内容が重ならないように工夫している。 ・今後も継続して工夫し見直しなどもしていく。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		計画されている。 (どちらともいえない：1)	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		全体ミーティング後にグループごとに実施している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	支援終了後には出来ていないが、翌日に話し合いを行っている。	支援の振り返りをする機会を設けた方が良いと思う。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	一日の様子を記録し情報共有や改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	4		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	5	2	(どちらともいえない: 1)	地域交流の場が増えるよう、機会があれば参加していきたいと思う。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	3	選択肢を提示し相談をしながら活動内容を決めている。 (どちらともいえない: 1)	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	4		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	6	医療ケアが必要な利用者は少ないが、服薬については保護者との連携は取れている。 (どちらともいえない: 1)	連携がどこまで取れているかが不明なので、医療機関との交流や意見交換の場があると良い。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	該当者がいない。 (どちらともいえない: 1)	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	6		コロナ禍の制限解除以降、交流の機会は持っていない。機会があれば参加していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	3	5		長期休みの時には時間があるが、平日では短時間のため交流は難しい。 コロナ禍以降はないが、参加する機会があると良い。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5	(どちらともいえない: 1)	今後機会を作り、参加していきたい。 参加しているか不明な職員もいたため、周知していく。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	2	子どもや保護者の声に耳を傾ける時間を大切に、子どもにとって無理のない安心できる支援となるよう意向の確認を行っている。	職員によっては保護者との話をする機会がない為、機会の場を提供していきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	2	(どちらともいえない: 1)	説明を行っているが不明との意見があったので、どのような説明をしているか周知していきたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	職員同士で情報の共有。管理者への報告。 (どちらともいえない: 1)	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		(どちらともいえない: 1)	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	3	家族の方に寄り添い、話しを伺うようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7		コロナ禍の制限解除以降、交流の機会は持っていない。要望があれば対応していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		管理者と連携し、職員間でも情報共有している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	2	毎月通信を発行し、日頃の活動の写真を多く発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		鍵付きの書庫で保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		子どもの特性や状況に応じわかりやすい言葉や視覚的にアプローチし、意思の疎通や情報伝達が円滑に行えるよう配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7		コロナ禍の制限解除以降、交流の機会は持っていない。要望があれば対応していく。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	マニュアルを冊子化し、職員がいつでも確認できるようにしている。同時に発生した場合の訓練やグループワークを行っている。	職員間での周知はされているが、保護者との間で認識が共有されていない。(浸透度が低い)
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	火事や地震など設定を変え訓練している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	2	支援時や緊急時対応に行かせるよう職員間で共有する工夫をしている。	細かな情報把握やそれに伴った対方法を把握できていないため、保護者や職員間で共有していきたい。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	アレルギーのある利用者を一覧表を作成し、職員が各々把握している。	細かな情報把握やそれに伴った対方法を把握できていないため、保護者や職員間で共有していきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2		計画が作成されているか不明との意見があったため、職員間で周知していきたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	(どちらともいえない：1)	家族へ周知しているか不明との意見があったため、どのような説明をしているか周知していきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	2	ヒヤリハット会議を実施し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	3		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2	(どちらともいえない：1)		